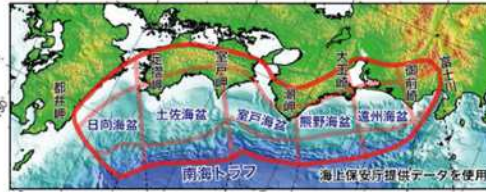


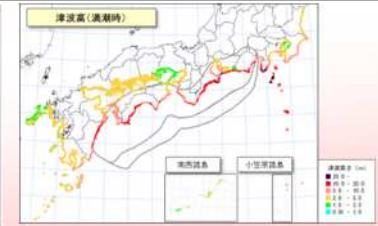
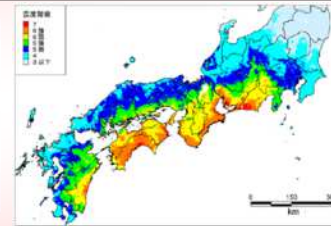
【南海トラフ地震臨時情報について】

南海トラフ地震

- 駿河湾から日向灘沖までのプレート境界を震源とする大規模地震
- 概ね100～150年間隔で繰り返し発生
- 前回の地震発生(1946年)から約80年が経過し、次の地震発生の切迫性が懸念



南海トラフ巨大地震の想定震源域



▲想定震度と津波波高(最悪のケース)(中央防災会議2013)

南海トラフ地震臨時情報 南海トラフ沿いで発生した異常な現象を観測した場合等に気象庁が発表
南海トラフ地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると評価され、南海トラフ地震臨時情報が発表される3つのケース

【M8級の地震発生】

南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合

南海トラフ東側で大規模地震(M8クラス)が発生



南海トラフ地震臨時情報
(巨大地震**警戒**)を発表

防災対応

最も警戒する期間は1週間を基本
地震発生後は明らかに避難が完了できない地域の住民は避難等
その後さらに1週間、M7級の地震発生時の防災対応を実施。

【M7級の地震発生】

南海トラフ地震の想定震源域及びその周辺においてM7.0以上の地震が発生した場合 (M8.0以上のプレート境界地震の場合を除く)

南海トラフで地震(M7クラス)が発生

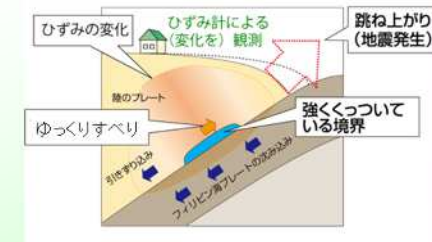


南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震**注意**)を発表

最も警戒する期間は1週間を基本
必要に応じて自主的に避難を実施することも含め
日頃からの地震への備えを再確認する等、警戒レベルを上げる

【ゆっくりすべり発生】

ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような**通常とは異なるゆっくりすべり**が観測された場合



最も警戒する期間は、すべりの変化が収まり、変化していた期間と概ね同程度の期間
日頃からの地震への備えを再確認する等、警戒レベルを上げる

※Mはモーメントマグニチュードを表す。これは、岩盤のずれの規模(ずれ動いた部分の面積×ずれた量×岩石の硬さ)をもとにして計算したマグニチュードで、その値を求めるには高性能の地震計のデータを使った複雑な計算が必要なため、地震発生直後迅速に計算することは困難である。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表

南海トラフ地震の想定震源域では、**新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると考えられます**

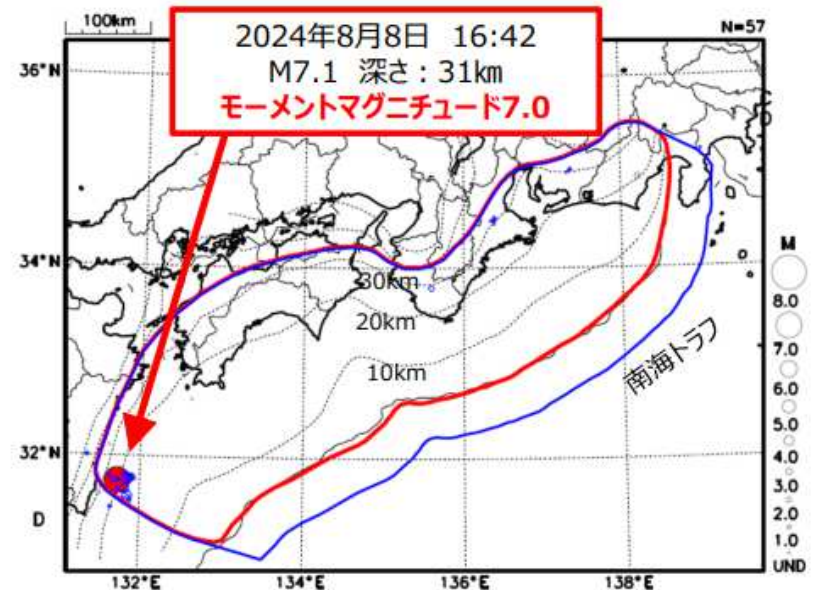
今後、もし大規模地震が発生すると、**強い揺れや高い津波を生じると考えられます**

※新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、特定の期間中に大規模地震が**必ず発生することをお知らせするものではありません**

政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください

※モーメントマグニチュードは、震源断層のずれの規模を精査して得られるもので、地震発生直後に地震波の最大振幅から計算し津波警報等や地震情報の発表に用いるマグニチュードとは異なります。

今回の地震の発生場所



- ・赤線は想定震源域、青線は南海トラフ地震臨時情報発表に係る地震活動の監視領域
- ・黒点線は、フィリピン海プレート上面の深さ

南海トラフ地震臨時情報が発表されたら…



- 政府や地方公共団体からの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう
- 1週間の事前避難が必要となる地域もあります

気象庁が南海トラフの想定震源域等で異常な現象を観測※1

➡ 個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始

地震発生から
5分～30分後

気象庁が「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」を発表

地震発生から 最短2時間後	南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震 臨時情報 (巨大地震注意)	南海トラフ地震 臨時情報 (調査終了)
<p>(最短) 2時間程度</p>	<p>巨大地震警戒対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日頃からの地震への備えを再確認する等 ●地震発生後の避難では間に合わない可能性のある要配慮者は避難、それ以外の者は、避難の準備を整え、個々の状況等に応じて自主的に避難 ●地震発生後の避難で明らかに避難が完了できない地域の住民は避難 	<p>巨大地震注意対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日頃からの地震への備えを再確認する等(必要に応じて避難を自主的に実施)※2 <p>つねに家族の所在場所を把握</p> <p>非常用袋やヘルメットを玄関に</p> <p>寝る時は枕元にはきなれた靴を置いておく</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う
1週間			
2週間	<p>巨大地震注意対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日頃からの地震への備えを再確認する等(必要に応じて避難を自主的に実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う 	
大規模地震発生まで	<ul style="list-style-type: none"> ●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う 		

※1…南海トラフの想定震源域またはその周辺でM6.5以上の地震が発生または南海トラフの想定震源域のプレート境界面で過剰なずれが生じた可能性がある場合。
 ※2…通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と同程度の期間が経過した時。

マンガで解説!

南海トラフ地震

その日が来たら・・・(東側編)より

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq_manga/manga_east_01.pdf

通常の生活を送りながら、次の地震に向けた備えを再度確認しましょう。

揺れを感じたら直ぐに避難できる態勢の準備と身の安全の確保

- すぐに避難できる態勢での就寝
- 屋内のできるだけ安全な場所での生活
- 非常持出袋の常時携帯
- 危険なところにできるだけ近づかない
- 緊急情報の取得体制の確保



日頃からの地震への備えの再確認

● 避難場所・避難経路の確認



● 家族との安否確認手段の確認

SNS・メール・電話・
災害伝言ダイヤル

「171」に電話をかけて、伝言を残すときはさらに「1」を、伝言を聞くときは「2」をおし、自分の家の電話番号など、家族で決めておいた番号をおすと使えます。



● 家具の固定の確認



● 非常持出品の確認など

- ・ モバイルバッテリーは充電されているか?
- ・ 懐中電灯の電池は切れていないか?
- ・ 非常食の賞味期限は切れていないか?

